

リズムに合わせて踊ろう

～みんなが参加しやすい授業～

川西高等特別支援学校 松本 純一

単元のねらい・目標

自ら行動を起こし、USA(曲名)の振り付けを覚えることができる。



自ら行動とは、
友達や教師に振り付けを聞いたり、
DVDなどの映像で確認したりすることを、
自分から始めること。



単元・指導の工夫①

- 聞き覚えのある曲
- 繰り返しのある振付
- 個人差に応じた振付
 - ・手だけ、足だけでもOK
 - ・一部分の踊りだけでもOK
 - ・易→難
- 練習位置(場)の選択
- 全体→部分→全体
- 授業以外の練習機会の確保(昼休み)

単元・指導の工夫②

教材、支援具



生徒が操作する



覚えたいところを映す
自分の動きを映す
友達の動きを映す

授業の様子

- DVDの映像を見て、繰り返し練習
- タブレットで必要な場面を録画して練習
- ほとんどの動きをマスター
- △教師の誘いに応じて練習
- △なんとなくできて満足
- △ダンスに参加できず

生徒アンケート結果

質問項目	はい	いいえ
ダンスが前より楽しくなった	19	3
ダンス練習でタブレットを使った	11	10*
分からないところを 自分から 友達に聞いた	11	10**
分からないところを 自分から 先生に聞いた	13	8
一生懸命 練習した	21	1

* 1年生7人はタブレットなし

** 6人は分からないところを、友達にも教師にも聞けなかった。

【ダンスが苦手な理由】

- ・うまく踊れなかった。
- ・練習時間があまりなかった。

成果と課題

【成果】

- 積極的に参加している生徒が多かった。
- 全体の練習に参加できない生徒でも、誰も見ていないところで練習を行っていた。

【課題】

- 「やってみよう」と取り組む態度。
- うまくいかないこと、よりよくなることへの対応。
- 「できていること」と「できていないこと」の評価。